

集団感染が発生する可能性の高い主な感染症の例

病原体	感染経路	特徴	感染予防策
インフルエンザウイルス	飛沫感染 接触感染	発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、 喉の痛み、鼻水など	ワクチン接種 手洗い、うがい マスク着用
MRSA（メチシリン 耐性黄色ブドウ球菌）	接触感染	発熱、痰（たん）、膿（う み）、水様性下痢など	手洗い、うがい
ヒゼンダニ （ヒト疥癬虫（かいせん ちゅう））	接触感染	激しいかゆみ、発疹など	更衣時、入浴時の皮膚の観察 予防衣の着用 手洗い
ノロウイルス	接触感染	激しい嘔吐（おうと）、水様性 下痢など	手洗い 食品の十分な加熱処理 汚物処理時の手袋使用
腸管出血性大腸菌 （O157など）	接触感染	下痢、吐き気、嘔吐、腹痛など	手洗い 食品の十分な加熱処理 汚物処理時の手袋使用